



新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、本校でも3月より臨時休校と在宅学習を実施しました。今回のNewsLetterでは、この間の取組を振り返るとともに、教員の目線では見えなかった生徒や保護者の皆様の声を今後に生かそうと実施した「臨時休校～在宅学習期間（4/8～5/31）中の本校の取組について」のアンケートの結果（抜粋）を報告します。これらの振り返りを、本校の今後の教育活動の改善に生かしていきたいと思えます。なお、アンケートの結果はホームページで公開していますので、ご覧ください。

》》》 臨時休校から在宅学習中の本校の取組について

ここでは、臨時休校から学校再開直前までの動きを時系列で振り返ります。なお、4月以降の学校の取組はホームページやNewsLetter vol.2でもご覧いただけます。

《3月》

- 2日(月) **政府の休業要請を受け、臨時休校期間に入る**
- 8日(日) **分散登校で18期生の入学説明会を開催**
- 10日(火)～12日(木) **登校日（学末考査を実施）**
- 21日(土)・23日(月) **生徒・保護者面談**
- 24日(火) **登校日（学年別修了式、教材販売、清掃）**

3月からの臨時休校決定後も、一年をきちんと締めくくることができるよう、感染症対策を講じて学年末考査や面談を実施しました。

一方で、3月から4月初旬にはオンラインでの授業を実施するための対応を検討しておらず、最悪の事態を想定した準備ができていなかった点は今後の課題です。

《4月》

- 3日(金) **第18回入学式を、簡略化して挙行**
- 4日(土) **着任式、始業式、対面式をグラウンドにて挙行**
- 6日(月)・7日(火) **始業を遅らせて2限授業（HR、新入生オリエンテーション、授業など）**

→4月8日からの臨時休校を急遽決定し、休校中の課題等の指示・連絡を行う

- 8日(水) **臨時休校期間に入る**
→以降、生徒の生活習慣の維持、課題や動画の配信などについて様々な方法を模索し、オンライン授業の教員研修を何度も実施して、情報共有を図る

休校当初は教員が個々に動画や課題の配信を始めました。各自が今できることを全力で行う一方で、まだ学校としての統一感に欠ける状態でした。その後、研修を繰り返して教員内でスキルを共有し、非常勤教員を含め、学校全体でオンライン授業や課題を実施できる状態になりました。

また、Classiの想定外の不調により学校からの連絡が滞りご迷惑をかけました。そんな中、Google Classroomへの移行の動きが教員内から生まれ、移行作業と並行して利用に関する教員研修が繰り返し行いました。

- 18日(土) **教員の在宅勤務を始める**
- 28日(火) **5月7日(木)からの在宅学習を正式に決定**

《5月》

- 2日(土) **在宅学習の時間割、一日の流れなどを生徒に連絡**
- 7日(木) **在宅学習開始、前期課程の家庭訪問を7～8日に実施**
- 13日(水)頃～各学年でClassroomの本格運用を始める
- 16日(土) **除菌・消毒等に関する教員研修**
- 19日(火)～ **6月1日からの学校再開に向けた分散登校開始**

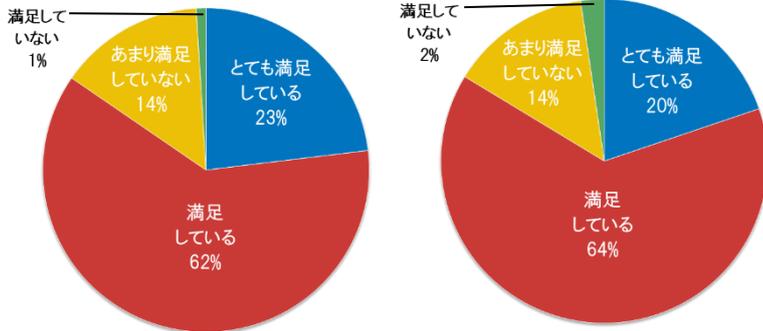
在宅学習は朝のHRで一日がスタートし、時間割に沿って授業が進みました。Zoomに参加できない、課題が提出できない…など様々なトラブルがありましたが、その都度丁寧に対応し、少しずつ改善して在宅学習を進めました。

》》》 保護者対象アンケート 結果概要

1) 学校の取組に対する満足度について

前期課程(1～3年)

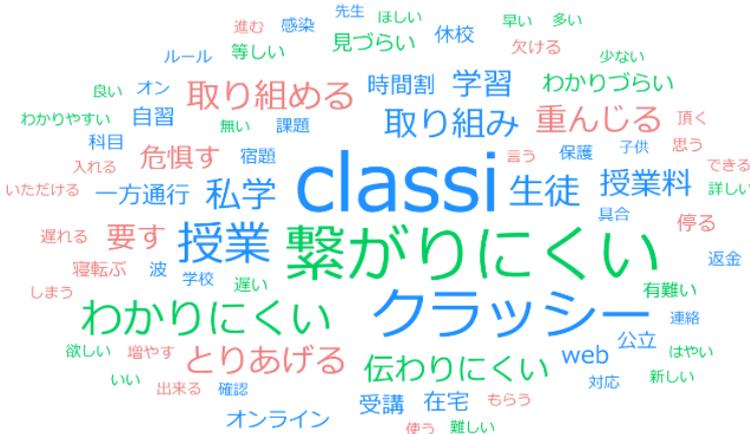
後期課程(4～6年)



未曾有の事態の中、教職員の感染防止を最大限に考慮した中での手探りの取組でしたが、本校が大切にしている少人数制を生かした「一人ひとりへのきめ細やかな対応」には、約85%の保護者の方に「とても満足している」、「満足している」を選択していただきました。数値としては一定の評価をいただきましたが、様々なご意見・ご批判もいただいています。これらを参考に、更なる改善に取り組みます。

具体的には、動画配信やzoomによる対面授業などオンラインの授業を実施したこと、朝夕のホームルームや時間割による授業を実施し規則正しい生活が送れたこと、毎日課題の提出があったこと、つながりにくいClassiからClassroomに切り替えたこと、家庭訪問(前期課程)や学校から定期的な電話対応したことなどに評価をいただきました。

2) 学校の取組全般について、気付かれたことや改善点について(自由記述)



←上の質問のうち、「あまり満足していない」、「満足していない」を選択された方の文章を分析しました。Classiが繋がりにくかった、学校からの連絡やオンラインに関する操作方法がわかりにくかった、3月から臨時休校になっているにもかかわらずオンライン授業に取り組み始めるのが遅かった、授業や連絡が一方通行であった、授業料はどうなのか、といった指摘をいただきました。今後に備えるため、通常授業にオンライン授業の手法を積極的に取り入れ、普段から教員、生徒がオンラインでの取組に慣れていく必要があります。どのような方法が効果的か、ルール等も含め検討を進めます。

→上の質問のうち、「満足している」、「とても満足している」を選択された方の文章を分析しました。Classiに繋がりにくかったことや学校からの連絡、操作方法が分かりにくかったことのほか、課題の量を増やしてほしい、小テストなど到達度を測るものが必要ではないか、子どもがきちんと課題を取り組んでいるか分からないので課題の提出状況を保護者にも知らせしてほしい(特に前期課程)という指摘をいただきました。学習の進度、課題の内容や提出状況を保護者の皆様にも「見える化」することが、普段以上に必要な環境であったことが分かりました。情報の共有方法について検討を進めます。



新型コロナウイルス感染症が全国に広がり、本校を含め教育現場は今までにない取組を求められました。休校前に、在宅学習を見ずしてICT環境の調査を行い、在宅学習の枠組を整備するとともに、家庭での学習で配慮すべき点を整理し、課題提示、授業動画の配信、双方向でのオンライン授業等を組み合わせた学習を組み立ててきましたが、不十分な点も多かったと反省しております。

在宅学習という新しい学びを経験したことは、通常の学校での学習のあり方を見つめ直す機会となりました。今後も学びの質を高めていくよう努力していきたいと考えております。

最後になりましたが、アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

》》》 学校再開後(6/1～)の様子を紹介します。

6月1日(月)から2週間、感染予防対策を講じたうえで登校時刻を遅らせて5限授業を行ってまいりましたが、近隣地域の新型コロナウイルス感染症の罹患状況を踏まえ、6月15日(月)からは通常校時での学習活動を再開しました。



ようやく学校ににぎやかな声が戻ってきました。ただ、密にならないよう気を配ったり、使用後の実験器具やパソコン、教室を除菌したりという感染対策が日常の光景となりました。



中学3年生は「コミュニケーション英語」でブータン王国とブータンの農業政策に貢献した西岡京治さんについて学習し、現地で観光案内をしておられるゲンボ・ドルジさんと本校をZoomで繋ぎ、ブータン王国の歴史や西岡さんの功績について主に英語でお話していただきました。5000 km近く離れたブータンと日本をテクノロジーの力で繋ぎ、英語を実際に使ってコミュニケーションすることができました。

部活動や放課後の自習・質問、21時までの自習室開放も順次再開。見慣れた光景が戻ってきました。引き続き、一人ひとりができる感染予防を徹底しながら、協力して学校生活を過ごしていきましょう。



令和3年度入試 広報行事(予定)

9/19(土) **入試説明会**

10/10(土) **第3回オープンスクール**

※今後の状況により、オープンスクール等の広報行事を中止や内容を変更して実施する可能性があります。その際は、本校ホームページなどにてお知らせします。なお、学校見学・個別相談は随時受け付けています。お気軽にお問い合わせください。

【中学・高校一貫教育】

聖心学園中等教育学校

〒634-0063 奈良県橿原市久米町 222 番地

Tel. 0744-27-3370 Fax. 0744-27-3525

<http://www.seishingakuenchuto.ed.jp/>

